

第10回 ふくまる夢たまごセミナー 閉塾式



日 時 2月14日(金) 18:00~20:00

場 所 市庁舎7階 大会議室

内 容 先輩から学ぼう「教師一年間やってみた！」

山本 萌 教諭(池田市立池田小学校)

講演「みなさんに期待すること」

講師 山際 博 氏(初任者拠点校指導員/前秦野小学校長)

令和6年度 ふくまる教志塾 第14期 閉塾式

2月14日(金)令和6年度のふくまる教志塾「ふくまる夢たまごセミナー」もいよいよ閉塾式を迎えました。

【田淵教育長より】

「14期生のみなさんは、このセミナーで多くのことを学んでくれたことと思います。改めて、みなさんはなぜ教員になりたいと思ったのでしょうか。私は、長く教育に携わってきましたが、今でも純粋に子どもに関わりたかったからだと思っています。これからのみなさんの教員としての想いに大いに期待しています。」と、田淵教育長から、塾生に向けて1年間の労いと励ましの言葉をいただきました。



『毎日がドラマだからこそ、子どもと純粋に関わり、楽しむ』

【山本先生より】

次に、本年度の初任者であり、ふくまる教志塾13期生でもある、山本先生から、「先輩から学ぶ」というテーマのもと、貴重なお話を伺いました。「4月からの1ヵ月間はとにかく必死でした。自分のやること全てにおいて、正しいのか…正しくないのか、日々、試行錯誤を重ねながらもここまでやってこれたのは、同期や同僚の先生方とのつながりや子どもの成長する姿を間近で見て、喜ぶことのできる仕事は他にはないからだと思ったからです。」本日、山本先生には初任1年目を振り返ってもらい、先生自身が1年目に実践してきた事や肌で感じてきた教育現場についてお話をいただき、4月から教壇に立つ人、これから教壇に立つことを目標にしている人に向けてエールを送っていただきました。



最後は、元校長先生でもあり、初任者拠点校指導員の山際先生より「みなさんに期待すること」というテーマでお話いただきました。

【山際先生より】

これからの先生に期待することとして、キーワードは『NTT+K』。N(粘り強く)・T(チームで)・T((良い意味での) 適当感)+K(研究(教材・授業研究))の意味や『NTT+K』を意識した日々を過ごしていくことの大切さについてお話いただきました。山際先生のお話は、1年間のふくまる教志塾の締めくくりにあふさわしく、塾生一同、改めて教師という仕事の素晴らしさと責任の重さを実感したようでした。



【塾生の感想から】

- 山本先生と山際先生のお話をお聞きして、教員になれるうれしさを感じました。「教員生活は毎日がドラマ」という言葉を聞いて、今から自分は素敵な仕事に携わることができると思い、わくわくしました。失敗しても一人で抱え込まず、周りの先生方に相談しながら、次に同じことがないようにするためにはどうすればよいかを考えて行動していくことを大切に働いていきたいです。
- 「教師一年間やってみた!」の山本先生のお話では、初任者のリアルを知ることができました。また、今一番知りたかったお話を聞くことができたので、とても良い機会となりました。「みなさんに期待していること」の山際先生のお話も現場のリアルがいっぱいで、4月から教師になる実感が湧いてきました。心構えというよりも、自分の心と体が健康で夢である先生を続けられるようにするためにはどうすればよいかという視点について、良い意味で肩の力を抜くことができました。1年間さまざまなことを学べてよかったです。



令和6年度ふくまる教志塾第14期生 一同